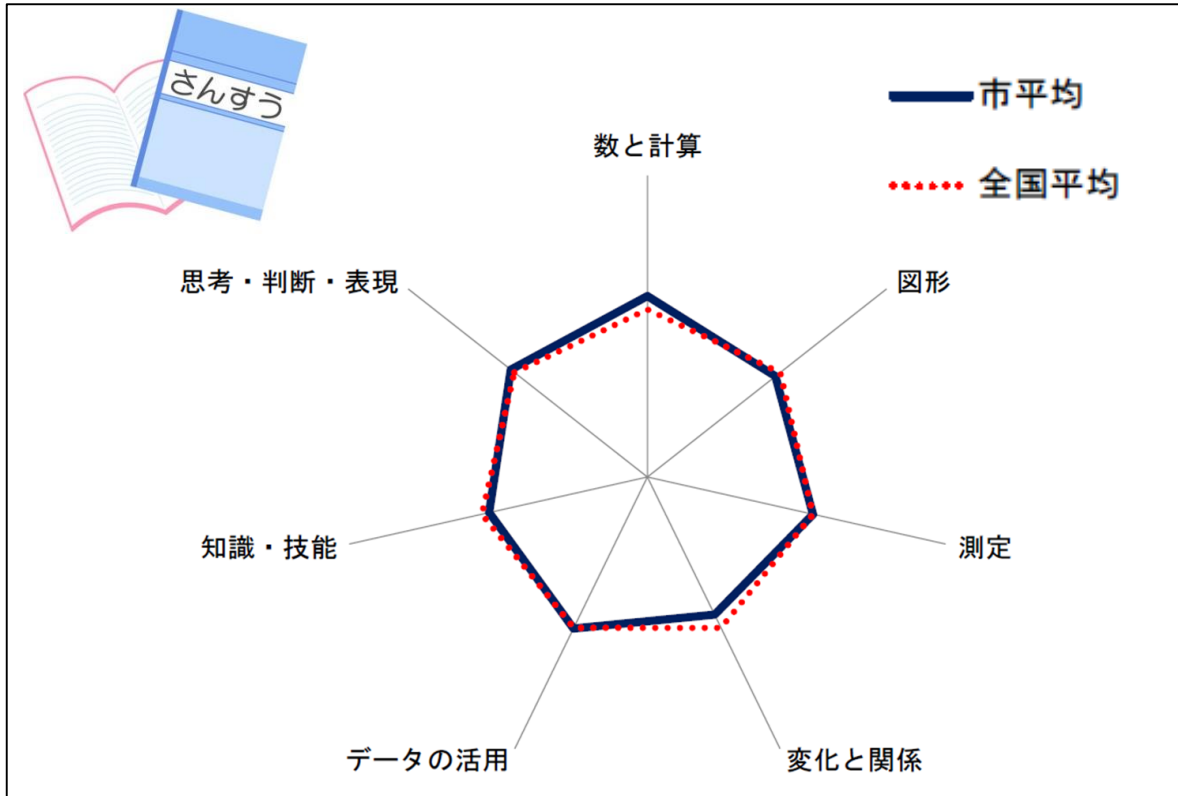




新居浜の小学生は、全体として全国と比べて同等の力を身に付けています。



よくできていた  
算数問題

数と計算の領域の問題についてよくできていました。基本的な内容がよく身に付いています。

四則計算に関連する問題、最小公倍数を求める問題がよくできていました。

問題に対する無答率が全国や県全体と比べて大変低く、粘り強く問題に取り組む姿勢が感じられました。

結果を受けてこれから  
取り組みを進めていきたい

「割合」について基本的な知識の習得に課題が見られます。「数量が変わっても割合は変わらないこと」の理解を見る問題は、正答率が大変低い結果でした。一人一人に基礎・基本を確実に身に付けさせる学習指導に取り組めます。

データの活用は、他教科と横断的な取組をすることにより、生きて働く力となります。算数的なものの見方を働かせて資料を読み取り、表現する活動に取り組めます。

